

はじめに

城崎温泉交流センター（以下、「さとの湯」という。）は、城崎温泉の七つの外湯の一つとして、住民や観光客に親しまれてきました。

しかしながら、老朽化が著しく、引き続き安全性を確保することが難しい等の理由から、2024年3月末を以て休館しました。

こういった「さとの湯」の現状も含め、それぞれ課題を抱えている城崎地域の公共施設の在り方を地域の皆様とともに考える場として、豊岡市公共施設再編計画に基づき策定した「豊岡市地域デザインプラン」の内容も踏まえ、2023年度に「城崎地域公共施設在り方検討会」を開催しました。

この検討会での協議結果を尊重し、2023年11月に、城崎文芸館・城崎麦わら細工伝承館の機能を集約した新しい「さとの湯」を整備するという方針を決定しました。

□城崎地域公共施設在り方検討会における機能集約の方向性



※ 城崎地域公共施設在り方検討会の詳細は市のホームページ（左記QRコードから読み取り可）に掲載しています。

1. 基本理念

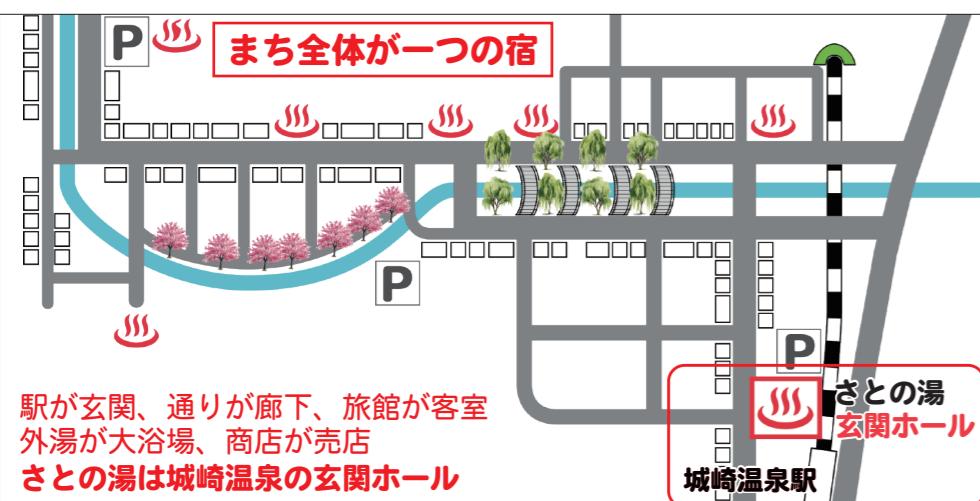
1-1. 施設の基本的な考え方

上記の経緯と、豊岡市基本構想の戦略目標“ローカルであること、地域固有であることを通じて世界の人々から尊敬され、尊重されるまち”を踏まえ、「さとの湯」の建替えリニューアルを計画します。リニューアルに際しては、施設規模・構造を適正化し、将来の課題が発生しにくい施設とするため、維持管理のしやすい運営コストに配慮した持続可能な施設とすることを目指します。

また、公共施設の集約化の観点から、既存の城崎文芸館および城崎麦わら細工伝承館の機能を「さとの湯」に統合し、城崎のまちや歴史文化、温泉の魅力を伝える拠点として整備します。加えて、本市の観光誘引をさらに高めるため、城崎温泉の魅力向上に寄与する施設を目指します。

1-2. 施設のコンセプト

「まち全体が一つの宿」という城崎温泉のコンセプトに基づき、これまで通り七つの外湯の一つと位置付けるとともに、JR城崎温泉駅前という立地を活かし、城崎温泉に訪れた人々を出迎え、温泉街へいざない、お見送りする場として「城崎温泉の玄関ホール」をコンセプトとした施設整備を行います。



駅が玄関、通りが廊下、旅館が客室
外湯が大浴場、商店が売店
さとの湯は城崎温泉の玄関ホール

2. 施設計画

2-1. 施設全体の構成

敷地は現さとの湯の敷地を基本とし、必要に応じて隣接するJR西日本からの借用地・市営城崎温泉駅前駐車場敷地を活用しながら計画します。施設全体の構成としては、以下の機能を備えるものとします。

(1) 温浴機能

浴室、休憩室等を整備します。特色があって、多様な人々が楽しめる魅力ある空間づくりを行います。

(2) ふれあい機能

城崎文芸館・城崎麦わら細工伝承館の機能を集約します。また、JR城崎温泉駅の待合スペースとしての機能も含め、駅前のさらなるにぎわいをもたらす場となるよう整備します。

2-2. 施設整備を行う上での方針

- 1日の入浴者数を平均600人程度と想定した運営計画に基づく施設整備を行います。
- サウナを整備する方向で検討します。
- 「歴史・文学の魅力」や「麦わら細工」の展示は、ふれあい機能を表す“ふれあいゾーン”を設けて設置します。現物展示にこだわらず、パネルによる紹介やゆかりのある場所の案内などの方法を検討します。
- NPO法人「本と温泉」等の地域資源の活用の場とします。
- 麦わら細工は、ふれあいゾーンでの作品展示に加え、城崎麦わら細工振興協議会等と連携し、製作体験ワークショップができるスペースを確保します。また、染色場を含む製作等に必要な設備も設けます。
- 災害時の一時的な退避場所やイベント利用も想定して検討します。
- 施設管理に必要な事務所・更衣室などを整備します。

2-3. 施設全体

- 施設規模は、上記の機能に必要な面積を確保すること前提に、できるだけコンパクトなものとなるように検討します。
- 敷地地盤が軟弱であることや、既存地中構造物の有効活用を図る観点から、建物重量に配慮した構造となるよう検討します。
- 計画にあたっては、維持管理費用の低減につながるよう検討します。
- 維持管理費の抑制と脱炭素のため、断熱性能の向上など省エネルギー化につとめ、再生可能エネルギーの活用も検討します。
- 多様な人々が、それぞれの楽しみ方で温泉を楽しめるような、ユニバーサルデザインの考え方をできるだけ取り入れます。
- 城崎温泉街の景観を意識した建物の外観デザインとします。

2-4. JR西日本との連携・協議

- JR城崎温泉駅からの来訪者動線や駅の待合スペースの活用等を通じて、さとの湯および城崎温泉の魅力発信が可能となるよう協議を行います。
- 敷地がJR城崎温泉駅の駅舎および線路に隣接することから、線路等近接工事に関する協議を行います。
- 敷地の一部がJR西日本からの借用地であるため、借用地は引き続き借用すること前提にJR西日本と協議します。

3. 施設運営についての考え方

施設運営にあたっては、運営の効率化・コスト削減を図るとともに、地域経済の活性化に資するため、以下の方針とします。

3-1. 施設運営方法

- 施設の運営管理にあたっては指定管理制度を採用します。
- 利用料金制を採用し、指定管理料は0円を基本として検討します。
- リスク分担を明確にした上で、指定管理者と協定を結びます。
- 施設の営業時間については、利用状況の見通しや地域の実情などを勘査して検討します。

3-2. 入浴料金体系

入浴料については、泉源を所有する城崎町湯島財産区と協議・検討します。

4. 市営城崎温泉駅前駐車場について

敷地に隣接する市営城崎温泉駅前駐車場については、以下の方針とします。

- 建築計画に応じ、建物用地として一部を使用することを検討します。
- 運営については「さとの湯」と一体経営とすることも検討します。

5. 整備スケジュール（予定）

年度	2024	2025	2026	2027	2028
解体工事	設計	→解体工事			
実施設計		設計	→設計完了		
建築工事				着工	→工事完了 リニューアルオープン

※関係機関との協議等により、スケジュールが変更になる可能性があります。

6. 施設整備の進め方

施設整備や運営方法の検討にあたっては、泉源の所有者である城崎町湯島財産区や地域の関係団体等と意見交換しながら進めます。

上記計画策定までの協議の内容等については、本市ホームページに掲載しています。

[対象ページ]

トップページ>市政情報>地域からの情報>城崎地域>
城崎温泉交流センター基本計画検討会



豊岡市城崎振興局地域振興課
〒669-6195 兵庫県豊岡市城崎町桃島 1057-1

TEL:0796-32-0001
FAX:0796-32-0007